

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 29 年度第 2 回佐渡市ケーブルテレビ放送施設番組審議会
開催日時	平成 30 年 2 月 22 日 14 時 5 分開会 14 時 42 分閉会
場所	アミューズメント佐渡 2 階 文弥人形室 A
議題	1 CNS 放送番組「三浦市長の今コレ!」について 2 その他 (大規模漏水被害に関する放送について)
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>委員</p> <p>会長 塚本明人 委員 藤井 光 委員 中川奈保子 委員 長野雅子 委員 北村 龍 委員 若林めぐみ 委員 鈴木尚美 委員 菊池はるみ</p> <p>事務局 総務課</p> <p>広報戦略室長 高野凡子 広報広聴係長 太田一人 情報政策係長 倉内 学</p> <p>株式会社佐渡テレビジョン (指定管理者) 代表取締役社長 高野宏介 制作部長 林 隆行</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
事務局 高野室長 塚本会長	あいさつ あいさつ
事務局 高野室長	1 CNS放送番組「三浦市長の今コレ！」について
	<p>平成29年6月2日から放送を始めたこの番組は、市の施策や取り組みの旬な情報をアナウンサーとのインタビュー形式で市長が自らお伝えする30分番組で、毎回テーマを2つ程度用意している。放送日は、毎月第1金曜日の18時から初回放送、その後日曜日まで放送をしている。</p> <p>今回審議いただく番組は、昨年12月に放送したもので、佐渡金銀山世界遺産登録に関する内容及び佐渡旅行パック「佐渡冬紀行」に関する内容である。</p> <p>なお、2月放送分では、寒波による漏水被害を受けて、急遽収録をやり直して放送した。</p>
北村委員	<p>しっかりまとめられていて30分がすぐに過ぎた。対話形式でわかりやすく、耳に入る内容であった。放送の内容が世界遺産登録ということで、みんなが関心を持つ内容であり、課題及びその課題の解決策が文字となって表現されていて、視覚と耳で入り関心のない方でもわかる内容だったと思う。</p>
鈴木委員	<p>番組は対話形式で内容もまとめられており、聞いている分にはわかりやすかった。</p>
菊池委員	<p>世界遺産登録に関しては、自分の中で冷めていた部分があったが、なぜ登録に向けて推進しているのかがよく理解できた。また、市長の考えも理解できてよかった。</p> <p>市長とインタビュアーだけでなく、様々な人をゲストとして呼んでもおもしろいのではないかな。</p>
若林委員	<p>まとまっていてわかりやすい内容であった。市が取り組んでいる施策について市長から直に話を聞くことができるのはいい。</p> <p>佐渡冬紀行については、対象は観光客だが、島内の人にも市の取り組みをアピールしていたのはよかった。</p>
中川委員	<p>テーマは市で決めているのだと思うが、視聴者からテーマを募集して決めると、より興味を持ってもらえるのではないかな。</p> <p>30分の放送時間が短く感じた。対話形式で、さらに今何について質問しているか文字も出ており、番組途中から見の人にもわかりやすい内容になっている。</p> <p>佐渡冬紀行という取り組みを知らなかったが、この番組を見て親戚や友人にPRしたいと感じたので、情報発信という意味においても</p>

<p>長野委員</p>	<p>いいと思う。</p> <p>番組中、市長が写真を見せていたが、文字で説明を入れるといい。何の写真なのかがわからなかった。</p> <p>毎月発行しているインフォメーションに放送するテーマが書かれていると、それを見て番組を視聴する人が増えるのではないか。</p> <p>わかりやすいとは思わなかった。対話形式ならば、インタビュアーの表情も映るべきだが、インタビュアーのアングルが斜め後ろで固定され、インタビュアーの顔が見えず市長の説明に反応する表情もうかがえなくて残念である。番組作りに工夫が感じられない。</p> <p>市長が自ら伝えるということだが、市長も喜怒哀楽を表さず淡々と読むだけで、担当課長が説明しているのと変わらない。市長自らが市民に語りかけたいというところが感じられず残念である。</p> <p>世界遺産登録についても、具体的に何をしたいのかわからなかった。この番組に限らず世界遺産登録に関しては学術的な用語が多く使われるが、せっかく市長が話すのであれば、難しい用語を市民にもわかりやすい言葉にかみ砕いて話してほしい。</p> <p>佐渡冬紀行の際にチラシを拡大して映していたが、やめてほしい。情報量が多いチラシをテレビ画面上ですべて見せることは不可能であり、テレビ用に作り直したほうがいい。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>テロップも多用し、写真、ポスターも何度も使っている。また、見る側からすれば論点整理ができていて、わかりやすかった。興味や関心がない人にも、それなりに内容を理解してもらえる上出来の内容であったのではないか。</p> <p>佐渡冬紀行については、市議会の決算審査報告で利用実績が極めて少ないとの指摘があったが、こういうところがこの番組から見ることはできない。仮に失敗があっても、そういった部分は隠しているところがあるのではないか。おそらく今後反省点が出ると思うから、来年は同じテーマの反省バージョンを製作してもらいたい。そうしないとPRのためのPRになり、実情の説明にはならない。ただ、映像としてはよくできていたと思う。</p>
<p>塚本会長</p>	<p>収録を応接室で行われているためか、ソファーに座り、さらに原稿を見ながらの撮影なので、市長が前屈みになり、全体として暗くなっている。収録の際はもう少し高さのある机やイスを使い、正面を向けるような感じで撮影するといいと思う。</p> <p>大きな文字のテロップも出ているが、文字数が多く難しい専門用語もあって理解しにくい。もう少しわかりやすい表現にしてほしい。テロップも箇条書きで構わないので、1行にまとめるようにすると、わかりやすくなるし、写真も対比するような形で使用するといい。</p> <p>世界遺産登録の話から佐渡冬紀行の話に切り替わるところで背景</p>

	<p>の様子ができていたのはよかった。</p> <p>チラシを画面に映しても読み切ることができない。話している部分だけをピックアップして、伝えたいことをテロップにして出すとよりわかりやすくなる。</p>
藤井委員	<p>佐渡冬紀行の実績は議会の決算委員会の報告を見ないと市民は知ることができない。行政は失敗したことは言わない。来年改めて、同じテーマを取り上げ、佐渡冬紀行の結果が失敗だったのか成功だったのか説明しないと意味がない。</p>
長野委員	<p>市長も担当課の原稿を読むのではなく、原稿を見たうえで市長の言葉で説明をしてほしい。</p>
塚本会長	<p>市長の説明も強弱があるといい。インタビュアーにも、もう少し感情が入ると視聴者の記憶に残るのではないかな。</p> <p>ただ、頑張っている感じがする。</p>
長野委員	<p>番組の趣旨自体はいいのに、その特色が出ていない。</p>
中川委員	<p>2 その他（大規模漏水被害に関する放送について）</p> <p>大規模漏水被害の際の放送は、わかりやすい内容で好評だったが、同じ内容が何度も繰り返し放送されていた。5分でも3分でも構わないので、最新の情報を放送するようにしてほしい。</p>
藤井委員	<p>応援で来ていた名古屋市の職員が出演し説明していたが、上下水道課の職員に出演させればよかったのではないかな。</p>
事務局 高野室長	<p>名古屋市の職員と上下水道課の職員に出演していただいたが、それぞれ撮影の時期が異なっている。名古屋市の職員に出演していただいた際は、上下水道課の職員は現場対応に追われ、出演できるような状況ではなかった。</p>
塚本会長	<p>以上で終了する。</p>